



新制服ワッペン  
若鳩と小野平野の稲穂がモチーフ

令和6年度 諫早市立小野中学校 学校便り 第7号

【小野中HP】

# わかばと



校訓：自主・積極

学校教育目標：自他を認め、共に高め合う生徒の育成

令和6年9月4日

校長 西山 敏明

## 令和6年度 2学期が始まりました。

記録的な猛暑や台風など、自然の脅威を感じた夏休みでしたが、生徒たちの元気な姿が学校に戻ってきました。

9月2日（月）の始業式では、次のような趣旨の講話を行いました。

『大きな事故もなく無事に始業式を迎えることができました。皆さんが、健康、安全に注意しながら過ごしてくれたおかげだと感謝しています。』

2学期は、皆さんがいろいろな場面で主体的に活動し、仲間たちと協力し合いながら、共に創り上げていく、そんな学期にしたい。テーマは「共創（きょうそう）」です。「共創」とは、皆さんが力を合わせ、共に考え、共に創り出すことで、生徒主体で様々な行事を企画し創っていきます。特に合唱祭は、小中合同で小野中体育館で実施します。後輩をサポートして成功させよう。夏休み中のいろんな経験を生かし、新しいことに挑戦し、大きく成長してほしい。生徒が主役の素晴らしい2学期にしましょう。』

### 2学期テーマ



2学期総務を任命しました。 よろしくお祈りします!!

(敬省略)

1-1

1-2

2-1

3-1



### 2学期に頑張りたいこと 1年

2学期は、宿泊学習や合唱祭など、初めての経験がたくさんあり楽しみです。特に、合唱祭ではパートリーダーを務めるので、パートのみんなを引っ張って、最高の合唱をつくり上げたいです。ピアノの発表会も控えているので、練習の成果を発揮したいです。宿泊学習では、クラスの仲間と協力して最高の思い出をつくりたいです。勉強では、苦手な「覚えること」を克服して頑張りたいと思います。一生に一度の中1の2学期を楽しもうと思います。

### 2学期の抱負 2年

1学期の反省を踏まえ、2学期は2つの目標を立てました。1つ目は、期末テストで400点を取ることです。そのために、自主学習の内容を充実させ、授業に真剣に取り組めます。2つ目は、部活動の新チームで副キャプテンになり、チームとキャプテンを支え、チームを勝利に導きたいです。そして、学年としては、修学旅行や合唱祭などの行事があるので、クラスで力を合わせて何事にも一生懸命取り組んでいきたいです。

### 2学期の抱負 3年

2学期は、計画的な学習と、クラスメイトとの思い出づくりを両立させたいです。計画的な学習では、目標の進学に向けて、勉強時間を増やし、クラス全体で切磋琢磨できる環境をつくれます。クラスメイトとの思い出づくりでは、合唱祭で心を込めた歌声を披露し、残りわずかな日々を大切に過ごします。これらの目標達成のため、挨拶や礼儀など基本的なことにも気を配り、受験生としての自覚を持って、充実した中学校生活を送りたいです。

### 2学期の抱負 生徒会代表

2学期は、合唱祭や生徒会役員選挙など、様々な行事が盛りだくさんです。1年生は初めての合唱祭、2年生は修学旅行、そして3年生は進路決定という大きな目標に向かって進んでいきます。2学期は、1学期に得た学びを「種」とし、それを育てる大切な時期です。自分が蒔いた種をよく観察し、水やりや肥料を与えながら、成長を見守りましょう。みんなが目標達成に向けて、思いやりを持ち、励まし合いながら進んでいきましょう。

## 令和6年度 第1回「学校評価アンケート」結果をお伝えします。

評価項目	番号	評価内容	職員			生徒			保護者		
			R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
1.地域との かかわりについて	1	地域でのあいさつ	3.1	3.1	3.0	3.4	3.4	3.4	3.0	2.9	2.9
	2	地域行事への参加	3.3	3.3	3.1	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9
	3	地域への関心	3.1	3.2	3.1	2.7	2.7	2.7	2.4	2.4	2.7
	4	学校だより等での情報発信	3.4	3.8	3.8	3.4	3.4	3.3	2.9	3.3	3.2
	5	職員の地域活動等への参加	3.5	3.1	2.9				3.1	3.2	3.2
	6	職員の地域との関り	3.5	3.4	3.2						
2.生き方の学 習について	7	進路指導、進学指導への取組	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.1	3.2	3.1
	8	将来に関わる講話や体験活動	3.6	3.4	3.5	3.3	3.2	3.3	3.0	3.0	2.9
	9	夢や希望を促す取組	3.4	3.3	3.4	3.0	3.1	3.0	2.7	2.9	2.9
	10	将来に向けての礼儀作法やマナー指導	3.2	3.4	3.6	3.4	3.4	3.5	2.9	2.8	3.0
3.学力の向上 について	11	授業の「めあて」の提示	3.4	3.1	3.1	3.6	3.5	3.6			
	12	授業の「まとめ」「振り返り」の場の設定	3.3	3.1	3.1	3.3	3.3	3.4			
	13	授業の見通しの提示				3.4	3.5	3.4			
	14	わかりやすい言葉やICTの活用	3.1	3.1	3.2	3.3	3.4	3.4			
	15	思考・グループ活動の場の設定	3.0	3.3	3.1	3.5	3.6	3.6			
	16	自主学習ノートの取組				3.3	3.3	3.3			
	17	「きくこと」を意識した授業参加				3.4	3.4	3.4			
	18	身につけさせたい学力の明示	3.4	3.3	3.3				2.8	2.9	3.0
	19	学力向上のための取組の明示							2.8	3.0	3.0
	20	学力向上のための家庭・小学校との連携	2.9	2.9	3.1						
	21	学力向上にかかるデータの活用	3.0	3.4	3.1						
	22	家庭学習の仕方の提示							2.8	2.9	2.8
	23	「小野中スマホルール」の遵守				3.2	3.2	3.1	3.2	2.6	2.7
4.一人一人を 大切にす る指導について	24	一人一人への観察				3.1	3.4	3.3			
	25	不安や悩みの理解	3.4	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.0	3.0	3.0
	26	性格や特性にあった指導	3.5	3.3	3.4	3.1	3.1	3.3	2.9	3.1	3.0
	27	ほめて認める指導	3.3	3.4	3.5	3.1	3.2	3.4	3.1	3.1	3.1
	28	教職員・家庭との情報の共有	3.6	3.6	3.5						
5.いじめ防止 について	29	家庭での会話							3.2	3.2	3.1
	30	いじめ防止基本方針の明示、理解	3.6	3.5	3.5				2.9	3.0	3.1
	31	いじめの早期発見	3.6	3.6	3.6	3.3	3.2	3.4	2.9	2.9	3.1
	32	いじめを許さない雰囲気	3.2	3.1	3.4	3.0	3.0	3.2	2.8	2.9	3.0
	33	いじめ対応への理解	3.5	3.5	3.4						
	34	いじめへの発言や行動				3.4	3.3	3.3			
	35	いじめ防止のための環境、相談窓口				3.3	3.3	3.4	2.9	3.0	3.1
6.生徒会活動 について	36	自主的な生徒会活動	3.4	3.2	3.1	3.5	3.5	3.4			
	37	積極的なボランティア活動	3.6	3.4	3.1	3.5	3.2	3.3	3.1	3.2	3.1
	38	生徒会活動による責任感の伸長	3.5	3.3	3.3				3.3	3.3	3.2
	39	人権尊重やいじめ根絶にかかる活動	3.6	3.4	3.2	3.6	3.4	3.5			
	40	生徒会活動による協調性の伸長	3.5	3.3	3.3				3.2	3.1	3.1
	41	生徒会活動への積極的参加				3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3

※目標値3.2(80%)以上  
2.8(70%)以下

### 1. 地域とのかかわりについて

①地域への関心や行事への参加について生徒、保護者ともに低い評価が数年間続いている。➡(改善に向けて)○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、教職員、生徒、保護者(地域)が目的や意味を再確認し、取り組んでいくことが必要であり、その周知啓発に努める。

### 2. 生き方の学習について

②全体的には高評価が多い。『9.夢や希望を促す取組』については、例年保護者の評価が2.9ポイント程度と低い状況である。➡(改善に向けて)○学校・学年・学級だより、HP等による、より一層の情報発信、学期末の保護者会での情報共有、家庭での会話のきっかけづくりなど、多角的にアプローチする。

### 3. 学力の向上について

③職員の評価は、おおむね目標値前後であった。生徒の評価は、多くの項目で目標値3.2ポイントは大きく上回っている。ただし、保護者の項目『22.家庭学習の仕方の提示』、『23.「小野中スマホルール」の遵守』については、依然として課題となっている。

➡(改善に向けて)○育友会と連携し、生徒・保護者への啓発活動を強化する。学校だより、ホームページ、学年・学級通信などを通じて、スマートフォン利用ルールに関する

情報を継続的に発信し、理解を深めるとともに、生徒一人ひとりの状況に応じた個別指導を実施する。

### 4. 一人一人を大切にす る指導について

④保護者のみ目標値3.2には達していないものの、職員、生徒は、おおむね良好な評価を得ている。特に、『26.性格や特性にあった指導』と『27.ほめて認める指導』において、生徒評価が向上傾向にある。➡(改善に向けて)○個に応じた指導を意識して丁寧に実践している職員の姿勢が、生徒たちに浸透してきているものとする。今後も授業や諸活動等で、生徒と接する時間を大切にし、生活アンケート等も活用しながら、生徒の実態を把握する努力を継続し、きめ細やかなコミュニケーションを図っていくことが大切だと考える。

### 5. いじめ防止について

⑤保護者のみ目標値3.2には達していないものの、職員、生徒は、おおむね良好な評価を得ている。特に、生徒、保護者の全質問で前年度評価を上回る結果となったことは、学校、教師への理解が深まってきていると考える。➡(改善に向けて)○未然防止、早期発見、生徒理解のために、「学校生活を楽しくするアンケート」を今後も毎月実施し、時機を逃さず対応していく。○より一層のいじめ対策強化を目指し、生徒会、委員会活動を生かした取組や相談しやすい環境づくり、多様な価値観を受け入れる校風づくりなど、生徒が安心して過ごせる学校づくりを推進していき、保護者等に発信していく。

### 6. 生徒会活動について

⑥教職員、生徒、保護者ともに目標値に近い結果は出ている。しかし、教職員の評価が低下傾向であることから、生徒会活動の本来の姿である「自治的活動」の姿がもっと現れるように指導支援する必要があると考える。➡(改善に向けて)○生徒の自主性を尊重し、ボランティア、国際交流など、多様な活動の機会を考えさせる。生徒会顧問の負担軽減を図り、教師は指導者から伴走者に転換し、生徒の自主性を尊重した指導ができるよう企画段階から生徒が主体的に活動できるように支援する。